

一般質問続き

台風9号の柳瀬川沿線被害状況を聞く ～川幅拡幅・川底の掃除等を求める～

浅野質問

荒幡地区では、護岸が20m崩れたり、川沿いの家が傾いた。又、東村山市境の久米地区では、柳瀬川が溢れ床下浸水、床上浸水被害がでた。川の拡幅、川底の徹底した掃除等の対策をすべきと考える。

建設部長答弁

台風9号に伴う、柳瀬川の氾濫被害だが

- 床上浸水 112件
- 床下浸水 58件
- 家屋の倒壊は、1件

柳瀬川は、県の管轄なので県に確認すると、

- 傾斜家屋については、傾斜家屋と、近隣の川沿いの家屋の関係者のご理解を得て、県が家屋及び土地を取得する為に交渉を始めている。現在は、傾斜した家屋と隣の家のご理解を得て、取得し家屋の取り壊しが進んでいる。
- 全て取得できたら、川幅拡張や護岸擁壁の補強工事をして行く。
- 川越県土整備事務所では、川の掃除や川を深くする事について調査中との事。

私は、これからも柳瀬川氾濫を防ぐ為の取り組みを質問し続けていきます。



▲荒幡の柳瀬川護岸が崩れた場所



【吾妻地区新春のつどい】での挨拶

地域や学校関係の新年会にお招きいただき多くの方々とお話す機会があった。そこで「第3消防団と第8消防団」管轄の吾妻地区が、平成28年1年間「無火災（＝火事がゼロ）」だった事も知った。住民のみな様が気をつけられた結果で誇れる事だ。時には国政の話もあり、次の話をされた方がいた。「安倍総理が、訪問したフィリピンで1兆円の経済支援をした。以前はインドに3兆円経済援助している。国の借金が一千兆円以上あるのに、大丈夫なんですかね。将来世代はたまらないよね」と。又「海外支援して、その国の国民が豊かになると思っていたが、韓国のように日本の支援金が少数の財閥の資産を増やす為に韓国政府が歴代行っていた事がわかった。そんな支援は辞めた方が良い」等々話された。私もそう思う。現在、日本では「6人に1人が貧困と言われ、所沢市でも全国平均と同じような現状だぞうだ。海外支援金を国民生活を豊かにする為に使用した方が相応しいのではないかと？子ども達の為に、自然災害被災者支援等にも使っていたらいいな」と。

おんねのあしやべん

浅野みえ子事務所

北秋津876-3所沢コーポラスH204

TEL・FAX (2995) 1463

メール asanomieko@nifty.com

HP有り:日々の活動をブログで記録しています。

[浅野みえ子]と検索して下さい



浅野みえ子

無所属

所沢市議:市政レポートNO.44

発行:平成29年2月吉日

今年もよろしくお願いたします。

私たちの住む吾妻地区には、地域住民の交流を深める「町内会・自治会・管理組合」を始めとして、体育協会・交通安全協会・環境推進委員・民生委員・防犯推進委員・消防団・青少年を守る会等々で、「地域の安心・安全」「文化の伝承、健康づくり」に活動して下さっている方々が沢山います。改めて感謝申し上げます。しかしどうしても、行政と一緒に取り組まなくては解決できない課題が沢山あります。少しずつでも課題が解決し前に進むように、今年もみな様の声を議会で発言し取り組んでまいります。1面で予算の一部を紹介します。

「家庭ごみ収集運搬業務」民間委託事業 5億9,000万円
～平成29年4月から開始～

「所沢市家庭ごみ収集運搬業務の民間委託拡大に向けた計画」に基づき事業を進めていく。現在、市では市内の地域40%を民間委託している。29年度からは、民間委託地域を55%に拡大する。4月から始める為に、28年度に予算を決めて用意する。現在は退職者が出て、ごみ収集業務担当の、新規職員を採用していない。平成32年度には、民間委託地域を市内の70%にする予定。災害時のごみ収集を考えて民間委託は、70%までで30%は市が行う方針。

障害児通所支援事業

～放課後等デイサービス:28年度予算は「7億1,758万円」～

児童福祉法に基づき、障害児が日常生活における基本動作の訓練等を目的とした通所による支援を受けた場合に、その保護者へ給付費を支給し、障害児の地域での自立して生活を支援すると共に保護者の負担軽減を図るもの。平成24年度の児童福祉法改正により、市内に障害者通所支援をする事業所が増えている。

西所沢駅西口開設推進事業 28年度は、294万8千円
～29年度予算は、1億3千万円・30年度は、2億5千万円予定～

西所沢駅西口開設は、計画に基づき進められている。今後の整備を効率的に実施する為に、送迎車両用道路の拡幅、転回広場と同時期に設計を行う必要があるため、西所沢駅第4自転車駐車場改修工事設計委託料を予算化した。来年29年度に、「道路拡幅工事」「車両転回広場及び第4自転車駐車場整備」を実施する。